

科目名	ワークショップⅡ							年度	2025
英語科目名	WorkshopⅡ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 1 年次	必／選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実習+実技
担当教員	深水みゆき		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ヴォイストレーナー	
【科目の目的】									
「身体全身が楽器である」というテーマに基づき、身体の支え、中心軸、正しい姿勢、鍛える筋肉、緩める筋肉、鼻腔の開放、共鳴の位置、口の開け方、より深い腹式呼吸のための様々な呼吸法のトレーニングを積み重ねていく。それを基本にして具体的な発声練習に取り組み、様々なジャンルの曲を用いて実践する。そして、自分を解放して伸び伸びとした響きのある声を育てることを目指す。									
【科目の概要】									
・声の出る仕組みを理解し、「俳優に必要な技術」の三大基礎（発声・発音・活舌）を訓練する。 ・「継続は力」を実践し、身体で感じ学ぶ。 ・俳優として「言葉」とは何かを考え、他者に「言葉」を使って意思や気持ちを伝える「喋り」を追求する。									
【到達目標】									
・聞きやすい声・喋りを身につける。 ・繰り返し練習することの大切さを実感する。 ・「言葉」を調べ理解し、文章を丁寧に読む習慣を身につける。 ・メロディー、リズムに声と感情を乗せ歌でドラマを創る。									
【授業の注意点】									
・声のトレーニングであるヴォイス&ヴォーカル。毎週の授業だけではなく毎日の積み重ねが大切だと理解し、日常でも「お腹の声」を意識して話す、などの工夫を希望します。 ・流して練習せず、一つ一つ丁寧な取り組みを覚えてください。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	音楽的要素を理解し 正確な音程・リズムで 歌うことができ 音楽性を備えている		音楽的要素を理解し 正確な音程・リズムで 歌うことができる		音楽的要素を理解 できていない 正確な音程・リズムで 歌うことができない				
到達目標 B	姿勢・呼吸・共鳴など 発声のメカニズムに ついて深く理解している		姿勢・呼吸・共鳴など 発声のメカニズムに ついて概ね理解している		姿勢・呼吸・共鳴など 発声のメカニズムに ついて理解できていない				
到達目標 C	歌詞を自然に美しく 正しい発音 ディクションで 歌うことができる		歌詞を自然に美しく 正しい発音 ディクションで 概ね歌うことができる		歌詞を自然に美しく 正しい発音 ディクションで 歌うことができない				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									
適宜、配布。									
【参考資料】									
適宜、配布。									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験・課題	60%	課題、発表の成果で判断する。							
平常点	40%	授業への参加態度、課題への散る組み方などから総合的に判断する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ワークショップⅡ				年度	2025
英語表記		WorkshopⅡ				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	基礎練習	前期復習		基礎練習	発声・発音・活舌の見直し		
2	基礎練習	前期復習		基礎練習	発声・発音・活舌の見直し		
3	基礎練習	「外郎売」を使ってヴォイストレーニング		音読	声に出して読む		
				構成	内容を理解する		
4	基礎練習	「外郎売」を使ってヴォイストレーニング		音読	声に出して読む		
				構成	内容を理解する		
5	基礎練習	「外郎売」を使ってヴォイストレーニング		科白	自分の言葉として喋る		
6	基礎練習	「外郎売」を使ってヴォイストレーニング		早口言葉	正確に発声する		
7	基礎練習	「外郎売」を使ってヴォイストレーニング		即興芝居	登場人物として即興芝居を入れてみる		
8	基礎練習	「外郎売」を使ってヴォイストレーニング		身体表現	外郎を飲む実感を持って演じてみる		
9	基礎練習	「外郎売」を使ってヴォイストレーニング		グループワーク	3人のグループで構成してみる		
10	基礎練習	「外郎売」を使ってヴォイストレーニング		グループワーク	3人のグループで構成してみる		
11	発表	「外郎売」を使って発表		リハーサル	本番の通りに演じる		
					最終確認		
12	発表	「外郎売」を使って発表		本番			
13	まとめ	振り返り		振り返り	前期と後期を振り返る		
14							
15							

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等